

# 特別講演 「福島いま」



1月22日（木）に、福島県より福島県企画調整部政策監・福島イノベーション・コースト構想政策監の佐藤安彦さんに本校へお越しいただきました。東日本大震災から15年になる今年に、本校生徒に「福島いま」を知ってもらいたいという思いを持って、ご講演をいただきました。

## 本校と福島県のつながり

2016年に当時の本校生徒が「震災後の福島県の様子を自分の目で見たい」と福島県を訪問し、復興の現状を目の当たりにしました。その7年後の2023年にも福島県を訪問しました。2度の訪問の際、今回の講演者である佐藤安彦さんに様々な場所を案内していただきました。また、2016年以降本校では、文化祭で福島県復興支援として、福島物産の販売を続けています。

## 水素エネルギー研究



原子力に依存しない安心・安全で持続的に発電可能な社会の実現のため、水素エネルギーの研究を進める拠点となっている

水素で走る車の数は日本一！



## 復興の現状

- 福島県各地の放射能濃度は他地域と比較しても低い数値が出ている。
- 食品についても厳しい基準をクリアして店頭には並んでいるが、未だに「福島物は買わない」と話す人もいる。
- 福島第一原発は、現在では予約したうで見学をすることができる。
- 避難のため、福島を離れた人々も多いが、現在では子どもを含め、被災地の人口は増加している。

## 大熊町立 学び舎 ゆめの森

- 福島県大熊町に新しい形を持った義務教育学校が作られました。
- 子どもたちが自分で時間割を作成し、「好き」と「なぜ」を出発点に教育を行います。

